

事業系ごみ取扱いマニュアル

栃 木 市

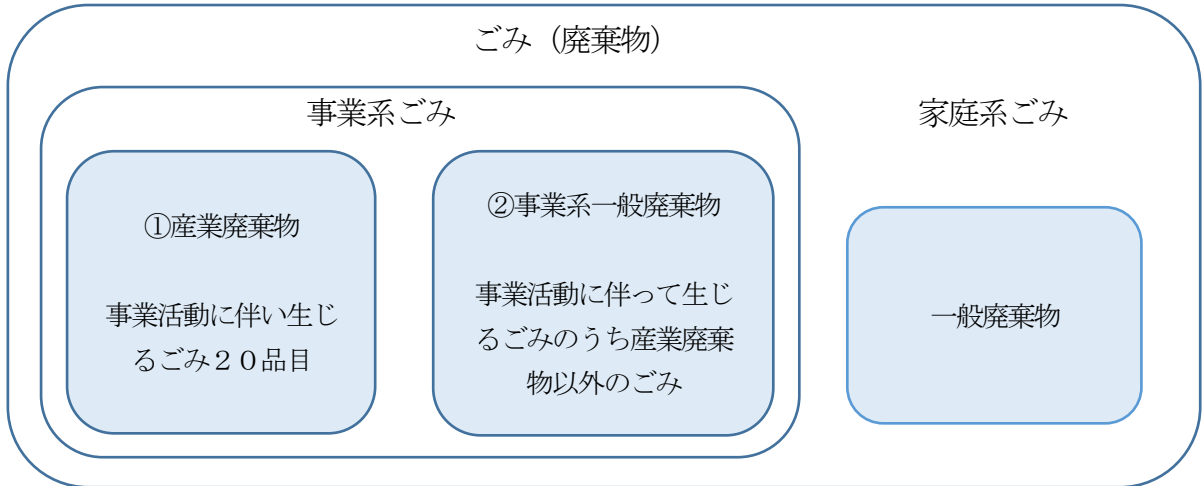
目 次

1	事業系ごみとは・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	事業者の責務・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3	事業系ごみの処理方法・・・・・・・・・・	3
4	栃木市(とちぎクリーンプラザ)に持ち込みできないごみ・・・・	6
5	産業廃棄物の対象となる業種とごみの種類・・・・・・・・	7
6	一般廃棄物収集運搬業許可業者一覧・・・・・・・・	8

1 事業系ごみとは

ごみは、日常生活に伴い家庭生活から排出される「家庭系ごみ」と、店舗や工場、事務所などの事業活動に伴い排出される「事業系ごみ」に大別されます。

事業系ごみは、法律により産業廃棄物と事業系一般廃棄物に分けられ、それぞれ処理の仕方や手続きが異なります。

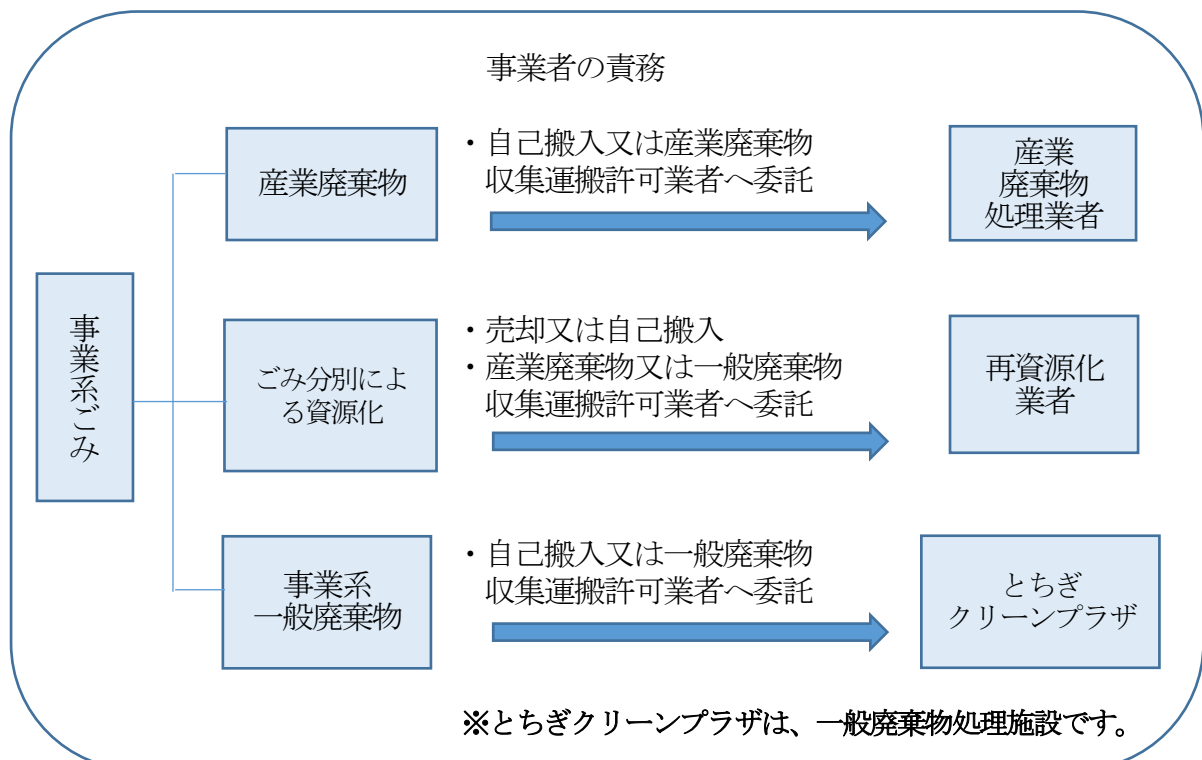


2 事業者の責務

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）では、事業者の責務として、次のようなことが定められています。

- (1) 事業活動に伴って生じたごみは、自らの責任において適正に処理すること。
- (2) 事業活動に伴って生じたごみの再生利用等を行い、廃棄物の減量に努めること。
- (3) ごみの減量、適正処理等について、国、県及び市の施策に協力すること。

事業活動に伴って生じた廃棄物は、産業廃棄物または事業系一般廃棄物に関わらず出した事業者が責任をもって処理しなければなりません。



廃棄物の処理及び清掃に関する法律（抜粋）

（事業者の責務）

第3条 事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理しなければならない。

2 事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物の再生利用等を行うことによりその減量に努めるとともに、物の製造、加工、販売等に際して、その製品、容器等が廃棄物となった場合における処理の困難性についてあらかじめ自ら評価し、適正な処理が困難にならないような製品、容器等の開発を行うこと、その製品、容器等に係る廃棄物の適正な処理の方法についての情報を提供すること等により、その製品、容器等が廃棄物となった場合においてその適正な処理が困難になることのないようにしなければならない。

3 事業者は、前二項に定めるもののほか、廃棄物の減量その他その適正な処理の確保等に関し国及び地方公共団体の施策に協力しなければならない。

栃木市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

（事業者の責務）

第6条 事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物を単独に、又は他の事業者と共同して自らの責任において適正に処理しなければならない。

2 事業者は、その事業活動に伴って生じた廃棄物の再生利用等によりその減量化を図るとともに物の製造、加工、販売等に係る製品、容器等が廃棄物となった場合は、その回収等に努めなければならない。

3 事業者は、廃棄物の減量、その他適正な処理に関し、市の施策に協力しなければならない。

3 事業系ごみの処理方法

事業系ごみは、ごみステーションに出すことができません。

3-1 産業廃棄物

産業廃棄物は、とちぎクリーンプラザには搬入できません。

(1) 産業廃棄物の種類

産業廃棄物は、事業活動に伴って発生した廃棄物で、法律で次の20品目が定められています。

○あらゆる事業活動に伴う廃棄物

- ①燃え殻 ②汚泥 ③廃油 ④廃酸 ⑤廃アルカリ ⑥廃プラスチック類
- ⑦ゴムくず ⑧金属くず ⑨ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
- ⑩銚さい ⑪がれき類 ⑫ばいじん ⑬産業廃棄物の処理物

○特定の事業活動に伴う廃棄物

- ⑭紙くず ⑮木くず ⑯繊維くず ⑰動植物性残渣 ⑱動物系固形不要物
- ⑲動物の糞尿 ⑳動物の死体

(2) 産業廃棄物の処理方法

- ① 事業者が自ら処理するか、産業廃棄物処理業の許可を受けている業者へ委託する。
- ② 事業者が産業廃棄物収集運搬業の許可を受けた業者に委託する。
(産業廃棄物処理伝票(マニフェスト)により管理票交付と返送された管理票を確認するなど自らの廃棄物が適正に処理されたことを確認しなければなりません。)

※事業者が収集・運搬を業者に委託する場合は、一般廃棄物と産業廃棄物の契約を個々に締結する必要があります。

【産業廃棄物処理に関する問合せ先】

(処理業者の紹介) 公益社団法人 栃木県産業資源循環協会
栃木県宇都宮市桜 4-2-2 (栃木県立美術館普及分館 3F)
TEL:028-612-8016 FAX:028-612-8017
ホームページ: <https://www.tochigi-sanpai.or.jp/>

(処理業者の許可) 栃木県 小山環境管理事務所 環境対策課
栃木県小山市犬塚 3-1-1
TEL:0285-22-4309 FAX:0285-26-2000

3-2 事業系一般廃棄物

事業系一般廃棄物は、一般家庭のごみステーションに出すことはできません。

※店舗兼住宅の場合、住宅部分から発生する生活ごみについては、家庭ごみとしてごみステーションを利用してください。

(1) 事業系一般廃棄物の処理方法

① 事業者が自ら処理するか、とちぎクリーンプラザに搬入する。

- ・とちぎクリーンプラザごみ処理手数料：10kg当り250円
- ・事業系ごみをとちぎクリーンプラザに直接持ち込む場合は、内容物が確認できる容器等を使用してください。
- ・ダンボール箱は、資源物です。ごみ容器として廃棄しないでください。
- ・一回の搬入量が1,000kg以上となる場合は、搬入日等をご連絡ください。

② 事業者が栃木市の一般廃棄物収集運搬業の許可を受けた業者に委託する。

- ・栃木市が許可した業者以外に収集運搬を委託することはできません。
- ・収集業者により収集運搬料金が異なりますので、確認してから委託してください。また、ごみの出し方等については、委託する許可業者と協議してください。

※ 一般廃棄物収集運搬業者一覧は、8ページを参照ください。

なお、業者一覧は、都度更新されますので、最新情報は市ホームページをご確認ください。

【一般廃棄物処理に関する問合せ先】

○処理業者の紹介・処理業の許可等に関すること

栃木市生活環境部 クリーン推進課 ごみ減量係

栃木市梓町 456-32 とちぎクリーンプラザ内

TEL:0282-31-2447 FAX:0282-30-3377

○とちぎクリーンプラザへの搬入に関すること

栃木市生活環境部 クリーン推進課 施設係

栃木市梓町 456-32 とちぎクリーンプラザ内

TEL:0282-31-2446 FAX:0282-30-3377

(2) 栃木市（とちぎクリーンプラザ）が受け入れる事業系ごみ

①事業系一般廃棄物

区 分	具 体 例	備 考
もやすごみ	<ul style="list-style-type: none"> 紙ごみ(資源化できない紙、汚れた紙) 生ごみ、草木類(太さ10cm、長さ60cm以下) 布類、座布団 	<ul style="list-style-type: none"> 一回に1,000kg以上を搬入する場合は、事前連絡をお願いします。 パレットは、木製であっても産業廃棄物のため、とちぎクリーンプラザには搬入できません。
粗大ごみ	<ul style="list-style-type: none"> 木製、竹製、籐製の家具など 畳(60cm以下に切断してください。) 	

②原則として産業廃棄物であるが、本市で事業系一般廃棄物とみなすもの

区 分	具 体 例	備 考
もやすごみ	煙草の灰・吸い殻、ラップ、ビニール袋など ケチャップ、マヨネーズなどのプラ容器等(ペットボトルより柔らかいものに限る。)	<ul style="list-style-type: none"> 従業員の飲食等に伴うものに限る。 製造、流通、販売等の本来業務以外で、臨時的に発生するものに限ります。
もやさないごみ	ボールペン、クリップ等の文房具、コップ、湯飲みなど (単品で1kg以内のものに限る。)	
空カン・空ビン	飲食用のカン、ビン	<ul style="list-style-type: none"> 従業員等の飲食に伴うものに限る。
ペットボトル・食品用トレイ	ペットボトルは、キャップを取り、ラベルを剥がしてください。 食品用トレイは、洗ってください。	<ul style="list-style-type: none"> ラベルやキャップのついたもの、汚れているものは、搬入できません。産業廃棄物として処理してください。
小型家電	電卓、携帯電話、電子体温計など (単品で1kg以内のものに限る。)	<ul style="list-style-type: none"> 製造、流通、販売等の本来業務以外で、臨時的に発生するものに限ります。

③資源物

区 分	具 体 例	備 考
新聞	新聞紙、折込チラシ(ひもで縛ってください。)	<ul style="list-style-type: none"> 資源物は、資源回収業者に直接売却又は委託処理をお願いします。 機密文書等は、シュレッダー等により細断するなど、資源化にご協力ください。 汚れや臭いのついたものは、もやすごみ扱いです。
ダンボール	ダンボール(中が波状の紙)	
雑誌	雑誌、書籍、カタログ(ひもで縛ってください。)	
その他の紙	オフィスペーパー、紙製の容器包装	
紙パック	牛乳等紙容器(切開いて、乾かしてください。)	

4 栃木市（とちぎクリーンプラザ）に持ち込みできないごみ

- ①乾電池、蛍光管、感染性廃棄物などの有害ごみは、少量（1kg以内）であっても、搬入できません。産業廃棄物として適正に処理してください。
- ②電気店が営業活動で一般家庭から引き取った電化製品は、産業廃棄物として適正に処理してください。
- ③事務机、ロッカー、パソコン、家電製品、電動工具など、プラスチック及び金属を含むものは、産業廃棄物として適正に処理してください。
- ④運送業、小売業などから排出される事業活動に伴う包装用ビニール、プラスチック製容器、発泡スチロール製容器、PPバンド等は、産業廃棄物として適正に処理してください。
- ⑤物の製造、修理、工作物の解体などに伴い排出されるプラスチック、金属くずは、少量であっても、産業廃棄物として適正に処理してください。
例：ガソリンスタンドから排出される、オイル缶、自動車部品など
- ⑥液状の廃棄物は、産業廃棄物として適正に処理してください。
- ⑦空カン、空ビン、ペットボトルは、産業廃棄物として適正に処理してください。
例：ホテル、ゴルフ場、駅などで利用者が排出したもの
飲食店、コンビニエンスストアなどで利用者が排出したもの
自動販売機設置者から排出されたもの

5 産業廃棄物の対象となる業種とごみの種類

区分	業種	ごみの種類
紙くず	建設業	ダンボール、壁紙、梱包材等工作物の新築、改築、除去に伴うもの
	パルプ、紙又は紙加工品の製造業	パルプ、紙加工品、板紙等
	新聞業(印刷発行を行うものに限る。)	新聞紙等
	出版業(印刷出版を行うものに限る。) 製本業 印刷物加工業	書籍等
木くず	建設業	型枠、足場材、木造解体材等工作物の新築、改築、除去に伴うもの
	木材・木製品製造業(家具製造業を含む。)	伐採材、建具工事等残材、チップ、おがくず、木製家具等
	パルプ製造業	木材等
	輸入木材の卸売業	木材、木くず等
	物品賃貸業	木くず、木製家具等
	全業種、全事業所	パレット(積付け用木材を含む。)
繊維くず	建設業	ウエス、クロス等工作物の新築、改築、除去に伴うもの
	繊維工業(衣服その他の繊維製品製造業を除く。)	木綿くず、羊毛くず等天然繊維くず
動植物性残さ	食品製造業 医薬品製造業 香料製造業	原料として使用した動植物に係る固形状の不要物(あめかす、のりかす、醸造かす、魚、獣のあら等)
動物系固形不要物	と畜場、食鳥処理場等	解体等をした獣畜や食鳥処理をした食鳥に係る固形状の不要物
動物の糞尿	畜産農業(酪農業、養鶏業、養豚業等)	動物の糞尿
動物の死体	畜産農業(酪農業、養鶏業、養豚業等)	動物の死体
燃え殻	全業種、全事業所	焼却灰、石炭がら等
汚泥	全業種、全事業所	工場排水処理や物の製造工程などから排出される泥状のもの
廃油	全業種、全事業所	潤滑油、洗浄油、てんぷら油等
廃酸	全業種、全事業所	硫酸、塩酸など酸性の廃液
廃アルカリ	全業種、全事業所	アンモニア、苛性ソーダ等アルカリ性の廃液
ゴムくず	全業種、全事業所	天然ゴムくず等
鉍さい	全業種、全事業所	製鉄所の炉の残さ等
がれき類	全業種、全事業所	工作物の除去に伴って生じたコンクリート破片、レンガ破片等
ばいじん	全業種、全事業所	廃棄物処理施設などの集塵設備で集められたばいじん
廃プラスチック類	全業種、全事業所	発泡スチロール、合成繊維、ポリ容器、ラップ類、ビニールシート、PPバンド、プラスチック事務用品、タイヤ等
金属くず	全業種、全事業所	飲料用カン、スプレー缶、金属製事務機、椅子、針金等
ガラスくず コンクリートくず 陶磁器くず	全業種、全事業所	ガラス製の容器、陶磁器、タイル、植木鉢、瓦、石膏ボード等
処理物	全業種、全事業所	上記の産業廃棄物を処分するために処理したもので、これらの廃棄物に該当しないもの